



NPO PTPL “ともいき” 便り No.55

平成 26 年（2014 年）7 月 7 日発行

■小暑（しょうしょ）

（7 月 7 日から 7 月 22 日までの節気）

小暑の節気に入りました。「梅雨があけて、暑さがしだいに厳しくなりセミが鳴き始める」ころです。ともいき暦で節気ごとに季節の映像を見ることができます。私は毎節気、映像の最後に登場するかえでの葉の色やボリューム感の変化を楽しんでいます。小暑のかえでの緑は太陽の光をいっぱい浴びて生命力に満ちています。そしてこれから季節とともに、七色に色を変え、美しく変身していきます。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2014/>

7 月 7 日は七夕。商店街には大きな笹飾りがたてられ、町の人たちが短冊に願い事を書いて吊るしていきます。短冊に書くようになったのは江戸時代の寺子屋が始まりで、その前は梶の葉の裏に墨で書いていたとか。梶の木はクワ科の落葉高木で、葉は神前へのお供え物の敷物に使われたりしていたそうです。七夕の願い事は長方形の短冊に、という固定観念にとらわれず、自分の夢を形にした紙に自由に書くのもいいですね。七夕といえば織姫と彦星の「星伝説」が有名ですが、「二人は天の川をどうやって渡るのか」と聞くと、案外首をかしげる人が多いようです。18～19 歳の学生さんたちに聞いたら、「泳いで渡る」「舟で渡る」と答えた人もいました。正解は「カササギ」という鳥が何羽も集まり羽根を広げて作る橋、です。カササギは佐賀県の県鳥で、カラスの仲間。「カチカチ」と鳴くことから、「勝ち鳥」と呼ばれ縁起のいい鳥だとされています。一度、本物を見てみたいです。今年の旧暦七夕は 8 月 2 日です。

さて「小暑」の節気には、お盆(7 月 13 日～16 日)の行事があり、7 月 9 日～7 月 10 日には浅草観音のほおずき市、7 月 12 日には東京各地で草の市が行われます。「ともいき暦」によると、ほおずき市は、源頼朝が奥州征伐の帰り、浅草で軍勢を休ませ、日射病で倒れた兵士に、ほおずきの赤い実を食べさせて元気づけたという言い伝えによるそうです。また草の市は、お盆に使う飾り物や盆踊り用品などを売る市で、町中に早い秋の草や花が積まれ、昔の武蔵野の風情を思い出すところから、いつしか「草の市」と呼ぶ

ようになったそうです。近年は浅草・八丁堀・松屋町・神楽坂・四谷などが賑わっていると。ほおずきやお盆の飾り物を買求める人たちの姿を想像すると、日本の夏だなあと感じます。そして、浴衣、風鈴、すいか、団扇、蚊取り線香、打ち水、よしず、すだれ……。暑い夏なのに、涼やかで癒される日本の夏景色が浮かんできます。

小暑から立秋までは、暑中お見舞の季節でもあります。私も暑中見舞いの葉書きを買いました。トップの話題は「タチアオイ」に決めています。「タチアオイ」は「梅雨葵」とも呼ばれていて、花が茎の下から上の方へと咲いてゆきます。下で咲き始めると「梅雨入り」。上まで咲いたら「梅雨明け」と江戸時代の随筆に記しているそうです。(倉嶋厚・著「季節よもやま事典」東京堂出版より) 自然の物差しですね。家の近くの遊歩道にも、橙色や赤色、桃色のタチアオイたちがキリッと姿勢よく咲いています。梅雨明けを予測しながら、散歩のたびにチェックしています。皆さんの町のタチアオイは、いかがですか。

日々、暑くなります。皆さま、くれぐれもお身体ご自愛ください。

すとうあさえ(NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

日本語のおもしろさ。

麦の秋(むぎのあき・麦秋<ばくしゅう>)

麦の秋という言葉は初めて聞いた時、アレっ?と思いました。とても耳立って聞こえました。

初夏、麦の黄ばむころを麦の秋と呼びます。「秋」の語源をたどれば、穀物の成熟収穫の季語ということですから麦の秋という言い方は季節は夏でも理にかなうことになります。

夏の「麦秋(むぎあき)」に対して秋の稲の取入れのころも「米秋(こめあき)」と言いますからこれも理にかなっています。

このような意味合いの言葉で「竹の秋」という言葉があります。竹は晩春の頃、勢いが弱くなり、秋の黄落の候のように葉が黄ばんでいきます。反対に「竹の春」という言葉は仲秋の候です。若竹が盛んに成長して、春のような鮮やかな緑の色を示すからです。

日本語はとてもおもしろく、ウィットに富んでいますね。

- もっと、もっと、日本語と日本の歴史と学ぼうではありませんか。
- 一日一回、ともいき暦を。

追伸

すとう あさえさんが「タチアオイ」について記述していますが、私は私の庭に咲く「コモンマロー」についてチョットひと言。

コモンマローはタチアオイと同じアオイ科の多年草でハーブの中でも花が美しい、花の色がキレイ、香りが良いということで、とても梅雨時のハーブとして人気があります。特に花のハーブティーは、レモン汁を少したらずと鮮やかな赤紫色の花の色がピンク色に変わり、香りもよく、おいしいハーブティーになります。私の大好きなハーブティーのひとつです。

タチアオイの花のハーブティーを試して見たいですね。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- 本文にもありましたが、小暑の節気には、夏の風物詩としての行事がたくさんあります。

七夕は新暦で7月7日、今年は旧暦では8月2日です。新暦の7月7日では梅雨の時季で七夕の日に、なかなか天の川や織姫星、彦星との遭遇の確率が低くなります。いつも、話題になるのですが、このズレはどうして起こるのでしょうか。

原因は明治の改暦にあります。1872年(明治5年)11月9日、明治政府は太陰太陽暦(旧暦)から太陽暦(新暦)へと改暦を発表しました。これによって明治5年12月3日が太陽暦の明治6年1月1日となったためおこったズレ(約1か月)です。

(「ともいき暦」11月9日「太陽暦採用記念日」の解説より。)

- ハーブティーについて、コモンマローのハーブティーは飲んだことがありませんが、レモングラス、ペパーミント、レモンバーベナを混ぜて飲むのもお勧めです。

- Facebook「ともいきぐらし (<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)」並びに「おらが富士計画 <https://www.facebook.com/oragafuji>)」「ジャパネスク」のサイト (<http://japanesque.pw/>) をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

- まだまだ梅雨本番の時季。うっとしく、蒸し暑い日が続きそうですが、皆さん、どうぞ、お身体ご自愛ください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階
電話：03-6205-7503
FAX：03-6205-7504
Email：info@plantatree.gr.jp